

## 2017年度 豊能支部 事業報告書

### 1. 2017年度支部活動の概要

豊能支部では、昨年度から支部の情報発信「豊能だより」を復刊し、今年度も会員相互の交流や支部活動の様子を知ってもらう活動を図ってきました。また、毎月の運営委員会の他に、支部主催の研修会2回、施設見学1回、新規会員歓迎会1回、親睦を深めるBBQ大会、忘年会を開催してきました。

### 2. 活動内容

- ① 「豊能だより」発刊
- ② 施設見学会  
平成29年6月23日「播磨社会復帰支援センター」
- ③ 研修会  
テーマ「自信を科学する」自己効力を高める・・・二回連続シリーズ  
講師：大阪教育大学教育学部 安達 智子准教授  
平成29年9月30日、10月28日 会場：千里朝日阪急ビル
- ④ 懇親会 平成29年7月 BBQ大会
- ⑤ 忘年会 平成29年12月千里中央於
- ⑥ 支部運営会議 毎月の第2金曜日 19:00～21:00 実施
- ⑦ その他の活動  
(公)大阪社会福祉士会の基礎研修に協力及び調整、メーリングリストの作成及び登録会員への情報発信

### 3. 評価とまとめ

平成28年4月号から「豊能だより」を復刊することができた。紙面では、会員の写真付き紹介リレーが行われ、様々な場面で会員相互の話題になり豊能支部の会員交流のツールの1つになっている。編集者は苦勞しているが、継続の必要性があると考えている。

施設見学では、他支部からも多くの参加者がありアンケート集計においても、貴重な機会を得たと高い評価があった。

シリーズで実施した研修会では、会員の燃え尽き症候群を予防する観点から、自己効力(自信)を高める理論を学び、実践に生かせる専門職向けの内容が実施できた。

様々な行事を企画、実施することは役員負担を否定できないが、取り組みのプロセスにおける苦勞を分かち合うことによって、「顔の見える活動」の実践となり、会員相互の信頼関係が深まっていると分析する。今後も、役員負担軽減を図りつつ、1人ひとりの会員が少しずつ支え合っていく支部活動のスタイルを堅持し、持続可能なネットワーク機能の構築を目指す。